

短歌

小松文芸賞

いくさの記憶

今江町 金戸紀美子

八月のこゑにいくさの短歌うたの湧もく杳とほくなりつつ忘れ得ぬもの

一年生に知りし開戦黒板の小さき日本を囲む米英

出征を送る役目の父の声万歳の音頭いつもこはばる

曾祖父の沖縄散華さんげを質ただす児に重き口開く妻なる君は

トイレットペーパーとの擲揄卷き太き一行七字の講和草稿